

1 次の傍線部分の読みをひらがなで記せ。1～20は音読み、21～30は訓読みである。

(30) 1×30

- 1 事件は世に広く喧伝された。
- 2 山伏は兜巾を被っていた。
- 3 天子の服喪期間を諒闇という。
- 4 師より優渥なるお言葉を賜る。
- 5 堂内は馨香に満ちていた。
- 6 二人の差は劃然としている。
- 7 上巳の節句を家族で祝う。
- 8 兵が堵列して敵に備える。
- 9 民衆の輿望を担う。
- 10 夙昔の希望が成就する。
- 11 官房長官が輔弼の任に当たる。
- 12 溶岩が堰塞して湖ができる。
- 13 飛箭がわずかに的をそれる。
- 14 人生は大海の一粟に過ぎない。
- 15 侃侃として意志を貫く。
- 16 胡乱な男が室内を窺う。
- 17 寒さで双頬が赤くなる。
- 18 太陽が赫灼と地を焦がす。
- 19 吃緊の課題を話し合う。
- 20 庭の大樹は樗である。
- 21 京の良の方角に寺がある。
- 22 筏を組んで水に浮かべる。
- 23 高座で小喃を披露する。
- 24 都の西方で焰があがる。
- 25 暗闇で壁のスイッチを摸る。
- 26 瑞瑞しい感性で曲をつくる。
- 27 収穫した穀物で粥いでいる。
- 28 鐙に足を掛けて馬に乗る。
- 29 乍ち敵陣に迫る。
- 30 先生将に何くにか之かんとす。

2 次の傍線部分は常用漢字である。その表外の読みをひらがなで記せ。

(10) 1×10

- 1 身内の病に託けて欠席する。
- 2 世の中に不正が罷り通る。
- 3 江戸城で両雄が相謁えた。
- 4 住民は挙って賛成した。
- 5 来月から担当者が迭わる。
- 6 二人の実力は略同じだ。
- 7 未成年が繁華街に屯する。
- 8 全員が困くなって輪を作る。
- 9 芳しい百合の花を贈る。
- 10 法律に関する業務を掌る。

3 次の熟語の読み(音読み)と、その語義にふさわしい訓読みを(送りがな)に注意して)ひらがなで記せ。

(10) 1×10

- 【例】健勝……勝れる ↓ けんしょうすぐ
- ア 1 賂謝……………2 賂う
 - イ 3 儲嗣……………4 嗣ぐ
 - ウ 5 切磋……………6 磋く
 - エ 7 叢生……………8 叢がる
 - オ 9 怨誹……………10 誹る
- 4 次の各組の二文の()には共通する漢字が入る。その読みを後の□から選び、常用漢字(二字)で記せ。

(10) 2×5

- 1 部下の努力を(1)労する。 事故の(1)謝料を支払う。
- 2 (2)嬰的な姿勢を批判する。 劣勢になって(2)却を始める。
- 3 互いの妥協点を(3)索する。 外国の作品を(3)傲する。
- 4 犯人は痕(4)を残さず逃走した。 遺(4)から貴重な土器が発掘される。
- 5 税金の他に(5)徴金を納めた。 社員の人事考(5)を行う。

い	か	しょう	すう
せき	たい	はん	も

5 次の傍線部分のカタカナを漢字で記せ。

(40) 2×10

- 1 百科事典をヘンサンする。
- 2 理路整然としてカンゼンする所なし。
- 3 ナダメすかしてその場を収める。
- 4 もらった花がスポむ。
- 5 浅草カイワイはいつも人出が多い。
- 6 災害の起きた正午にモクトウする。
- 7 一目見てホれてしまった。
- 8 弥生時代のハニワが展示される。
- 9 敵のスングキを突いて攻撃する。
- 10 夫婦の間にケンタイ期が訪れる。
- 11 不祥事をゼツポウ鋭く追及する。
- 12 海苔のツクダニを買い求める。
- 13 キキヨウな振る舞いに驚く。
- 14 三国がテイリツして覇を競う。
- 15 今の生活がツクツク嫌になる。
- 16 失敗を思わずコトしようとする。
- 17 不動明王はフンヌの形相をしている。
- 18 傷口がひどくカノウして治らない。
- 19 その意見には到底シユコウできない。
- 20 有り合わせの菜でシユコウを見繕う。

6 次の各文にまちがって使われている同じ音訓の漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を記せ。(10) 2×5

- 1 此の度は弊社の商品に異物が混入した件につき忠心よりお詫び申し上げます。
- 2 明かり取りの窓には唐竹を構子状に交差させた縞模様が縦横に走っている。
- 3 個人商店が次々と潰れ、大規模店舗が生き残ったのも時代の数勢だった。
- 4 繊細な指の動きが紡ぎだす素晴らしい刺繍の紋様を見て驚嘆し感動した。
- 5 映画では孤児を養護する修道院から散歩中の少女達が骨然と姿を消した。

7 次の問1と問2の四字熟語について答えよ。(30)

〔問1〕 次の四字熟語の(1~10)に入る適切な語を後の□から選び漢字二文字で記せ。(20) 2×10

(1)	蜜語	鳩首	(6)
(2)	秀麗	虚心	(7)
(3)	猛進	全豹	(8)
(4)	昇天	一目	(9)
(5)	頓挫	治乱	(10)

〔問2〕
 いっぱん・ぎょうぎ・きよくじつ・こうぼう・たんかい・ちよとつ・てんげん・びもく・よくよう・りようぜん

次の1~5の解説・意味にあてはまる四字熟語を後の□から選び、その傍線部分だけの読みをひらがなで記せ。(10) 2×5

- 1 死後の極楽浄土を願う求める。
- 2 小人物やつまらない者がはびこる喩。
- 3 本質を忘れ些事にとらわれること。
- 4 永遠に変わらない堅い誓い。
- 5 考えや行動が物にとらわれず自由。

唯我独尊・朝蝇暮蚊・融通無碍・欣求浄土・河山带砺・進取果敢・哀毀骨立・积根灌枝

8 次の1~5の対義語、6~10の類義語を後の□の中から選び、漢字で記せ。□の中の語は一度だけ使うこと。(20) 2×10

1 賢明	6 傑出
2 枯淡	7 対立
3 黄昏	8 鉄面皮
4 荒蕪地	9 認可
5 凋落	10 一端

いんきよ・うぐ・えいだつ・そうこく・のうえん・はれんち・ふつぎよう・へんりん・ぼつこう・よくど

9 次の故事・成語・諺のカタカナの部分に漢字で記せ。(20) 2×10

- 1 リカ一枝春雨を帯ぶ。
- 2 シヤカに宗旨なし。
- 3 シランの室に入るが如し。
- 4 ヒゲも自慢のうち。
- 5 一文銭で生爪ハがす。
- 6 カネや太鼓で探す。
- 7 シシ身中の虫。
- 8 網ドンシユウの魚を漏らす。
- 9 燕雀安んぞコウコクの志を知らんや。
- 10 シンエンに臨んで薄氷をふむが如し。

10 文章中の傍線(1~5)のカタカナを漢字に直し、波線(A~C)の漢字の読みをひらがなで記せ。(20) 2×5 1×10

A 多摩川の二子の渡をわたってすこしばかり行くと溝口という宿場がある。その中ほどに亀屋という旅人宿がある。ちようど三月の初めのころであった、この日は大空かき曇り北風強く吹いて、さなきだに淋しいこの町が一段ともの淋しいインウツな寒そうな光景を呈していた。昨日降った雪がまだ残っていて高低定まらぬ茅屋根の南の軒先からは雨滴が風に吹かれて舞うて落ちている。草鞋の足痕に溜まった泥水にすら寒そうな連が立っている。日が暮れると間もなくたいがいの店は戸を閉めてしまった。闇い一筋町がひっそりとしてしまった。旅人宿だけに亀屋の店の障子には燈火が明く射していたが、コイイは客もあまりないとみえて内もひっそりとして、おりおり雁頸の太そうなキセルで火鉢の縁を敲く音がするばかりである。

(国木田独歩「忘れえぬ人々」より)

B 自由に対する慾望は、しかしながら、すでにハンタなる死法則を形成した保守的社会にありては、つねに蛇蠍のごとく嫌われ、悪魔のごとく恐れらるる。これ他なし、幾十年もしくは幾百年幾千年の因襲的法則をもって個人の権能を束縛する社会に対して、我と我が天地を造らむとする人は、勢いまず奮闘の態度を採り侵略の行動に出なければならぬ。四圍の抑制ようやく烈しきにしたがっては、ついにこれに反逆し破壊するの挙に出る。階級とていい習慣とていい社会道徳という、我が作れる繩に縛られ、我が作れる狭き獄室に情眼を貪る徒輩は、ここにおいてロウバイし、奮激し、あらん限りの手段をもって、血眼になって、我が勇敢なる侵略者を迫害する。かくて人生は永劫の戦場である。個人が社会と戦い、青年が老人と戦い、進取と自由が保守と執着に組みつき、新らしき者が旧き者と鎗を削る。(石川啄木「初めて見たる小樽」より)

● 制限時間 **60分**

● 合格点 **160点**

● 得点 **点 / 200**

氏名 ふりがな ※印字されていない場合は氏名を記入。	訂正 ※氏名に誤りがある場合、右上の訂正にマークし、正しい氏名を記入。	性別 男 女	生年月日 元号 年 月 日 ※印字されていない場合は、 <input type="checkbox"/> の中に生年月日を記入。	元号は 令和…R 平成…H 昭和…S 大正…T 明治…M を記入。西暦の場合はWとして下2ケタを記入。
		訂正	元号 年 月 日 ※生年月日に誤りがある場合、訂正にマークし、 <input type="checkbox"/> の中に正しい生年月日を記入。	
マーク記入例 ○のように [□] をきれいにぬりつぶしてください。 ○ × <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>				

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	

1 読み

1×30 (30)

5	4	3	2	1

4 共通の漢字 (10)

オ		エ		ウ		イ		ア	
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

3 熟語の読み・一字訓読み (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

2 表外の読み

1×10 (10)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

5 書き取り

2×20 (40)

5	4	3	2	1

〔問2〕
意味と読み

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

〔問1〕
書き取り

2×10

7
四字熟語
(30)

5	4	3	2	1

誤
正

2×5

6
誤字訂正
(10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

9
故事・諺

(20)

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

8
対義語・類義語

(20)

2×10

コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア

読
み

1×10

5	4	3	2	1

書
き
取
り

2×5

10
文章題
(20)

注意点

- 答えはすべて答案用紙に書くこと。
- 問題についての説明はないので、問題をよく読んでから答えを書くこと。
- 答えは、必ずHB以上の濃い鉛筆かシャープペンシルで書くこと(ボールペンや万年筆などは使用不可)。
- 答えは楷書体で枠内いっぱい大きくはっきり書くこと。
特に漢字の書き取り問題では、はね・とめなどをはっきり書く。
行書体や草書体、乱雑な字は検定の対象にならない。

1 読み

各1点 計30点

- 1 けんでん
- 2 ときん
- 3 りょうあん
- 4 ゆうあく
- 5 けいこう
- 6 かくぜん
- 7 じょうし
- 8 とれつ
- 9 よぼう
- 10 しゆくせき
- 11 ほひつ
- 12 えんそく
- 13 ひせん
- 14 いちぞく
- 15 かんかん
- 16 うろん
- 17 そうきよう
- 18 かくしやく
- 19 きつきん
- 20 ちよ
- 21 うしとら
- 22 いかだ
- 23 こばなし
- 24 ほのお
- 25 さぐる
- 26 みずみず(しい)
- 27 ひさ(いで)
- 28 あぶみ
- 29 たちま(ち)
- 30 ゆ(かん)

2 表外の読み

各1点 計10点

- 1 かこつ(けて)
- 2 まか(り)
- 3 まみ(えた)
- 4 こぞ(って)
- 5 か(わる)
- 6 ほぼ
- 7 たむろ(する)
- 8 まる(く)
- 9 かくわ(しい)
- 10 つかさど(る)

3 熟語の読み・一字訓読み

各1点 計10点

- ア 1 ろしや
2 まいな(う)
- イ 3 ちよし
4 つ(ぐ)
- ウ 5 せつさ
6 みが(く)
- エ 7 そうせい
8 むら(がる)
- オ 9 えんぴ
10 そし(る)

4 共通の漢字

各2点 計10点

- 1 慰(慰勞・慰謝料)
- 2 退(退嬰的・退却)
- 3 模(模索・模倣)
- 4 跡(痕跡・遺跡)
- 5 課(課徴金・考課)

5 書き取り

各2点 計40点

- 1 編纂
- 2 間然
- 3 宥(め)
- 4 窄(む)
- 5 界限
- 6 黙禱
- 7 惚(れて)
- 8 埴輪
- 9 寸隙
- 10 倦怠
- 11 舌鋒
- 12 佃煮
- 13 奇矯
- 14 鼎立
- 15 熟塗
- 16 糊塗
- 17 憤(忿)怒
- 18 化膿
- 19 首肯
- 20 酒肴

6 誤字訂正

各2点 計10点

- 1 忠(心)→衷(心)
- 2 構(子状)→格(子状)
- 3 数(勢)→趨(勢)
- 4 (刺)袖→(刺)繡
- 5 骨(然)→忽(然)

7 四字熟語

各2点 計30点

- 〔問1〕
- 1 甜言(蜜語)
 - 2 眉目(秀麗)

3 猪突(猛進)

- 3 猪突(猛進)
- 4 旭日(昇天)
- 5 抑揚(頓挫)
- 6 (鳩首)凝議
- 7 (虚心)坦懐
- 8 (全豹)一斑
- 9 (一目)瞭然
- 10 (治乱)興亡

〔問2〕

- 1 ごんぐ(欣求浄土)
- 2 ぼぶん(朝蠅暮蚊)
- 3 かんし(积根灌枝)
- 4 たいれい(河山带砺)
- 5 むげ(融通無碍)

8 対義語・類義語

各2点 計20点

- 1 迂愚
- 2 濃艶
- 3 払暁
- 4 沃土
- 5 勃興
- 6 穎脱
- 7 相克(剋)
- 8 破廉恥
- 9 允許
- 10 片鱗

9 故事・諺

各2点 計20点

- 1 梨花
- 2 釈迦
- 3 芝蘭
- 4 卑下
- 5 剝(がす)
- 6 鉦
- 7 獅子
- 8 吞舟
- 9 鴻鵠
- 10 深淵

10 文章題

各2点 計10点

- 〔書き取り〕
- 1 陰鬱
 - 2 今宵
 - 3 煙管
 - 4 煩多
 - 5 狼狽

〔読み〕

各1点 計10点

- ア のきさき
- イ わらじ
- ウ あしあと
- エ さぎなみ
- オ くら(い)
- カ しょうじ
- キ いんしゅうてき
- ク はげ(しき)
- ケ だみん
- コ ちまなこ

1 次の傍線部分の読みをひらがなで記せ。1～20は音読み、21～30は訓読みである。

(30) 1×30

- 1 新しい環境に馴化する。
- 2 職業に貴賤の別はない。
- 3 深い谷に翠嵐が漂う。
- 4 這般の事情により延期する。
- 5 功績を認め徽号を贈る。
- 6 碩徳の御高説を拝聴する。
- 7 頁岩は板状に薄く剥げる。
- 8 翰墨の遊びを楽しむ。
- 9 ト占で進む方向を決める。
- 10 全身に元気が横溢している。
- 11 湛然たる水底で光を放つ。
- 12 不審な人物を誰何する。
- 13 帥先して実行する。
- 14 人生の謂はそこにある。
- 15 全員一致で会長に推戴した。
- 16 敵戦艦は瞬く間に轟沈した。
- 17 当時は酒色に耽溺していた。
- 18 挽歌を聞いて皆泣いた。
- 19 常に鷹揚な態度で接する。
- 20 民家より碓声聞こゆ。
- 21 鶺鴒色の服を身に着ける。
- 22 泉水を手に掬びつつ飲む。
- 23 成功を願ってお呪いを唱える。
- 24 天を怨みず人を尤めず。
- 25 塙に立つ杉の木を目指す。
- 26 なぜか矢鱈に人出が多い。
- 27 未だに恕せないことがある。
- 28 聞き苦しい僻事を並べる。
- 29 朝顔の葉先から雫が伝う。
- 30 諒を尽くして信を問う。

2 次の傍線部分は常用漢字である。その表外の読みをひらがなで記せ。

(10) 1×10

- 1 弓に矢を番える。
- 2 国民の経済格差を均す。
- 3 意見は概ね出尽くした。
- 4 昔の好で協力する。
- 5 会議には都ての委員が出席した。
- 6 長時間の水泳で指先が潤びる。
- 7 様々な技芸を攻めてきた。
- 8 上司に対して邪な感情を持つ。
- 9 できるだけ儉やかに暮らしたい。
- 10 長年事えた主君に逆らう。

3 次の熟語の読み(音読み)と、その語義にふさわしい訓読みを(送り)がなに注意して)ひらがなで記せ。

(10) 1×10

- ア 1 翫弄……………2 翫ぶ
 - イ 3 兇刃……………4 兇い
 - ウ 5 輔弼……………6 弼ける
 - エ 7 蕃殖……………8 蕃る
 - オ 9 綿互……………10 互る
- 4 次の各組の二文の()には共通する漢字が入る。その読みを後の()から選び、常用漢字(二字)で記せ。

(10) 2×5

- 1 蕪(1)な言葉で罵られる。
- 2 座禅をしても(1)念が離れない。
- 3 湖の周(2)を鬱蒼たる林が囲む。
- 4 莫逆の友との間に宿(2)を感じる。
- 5 放(3)な生活を改める。
- 6 決められた進路から(3)脱する。
- 7 球審の補佐も(4)審の仕事だ。
- 8 城(4)を隅々まで散策する。
- 9 ご依頼の品を幸(5)に託します。
- 10 残り後は(5)にてお届けします。

- 11 残
- 12 後
- 13 依
- 14 頼
- 15 の
- 16 品
- 17 を
- 18 幸
- 19 に
- 20 託
- 21 し
- 22 ます
- 23 残
- 24 り
- 25 後
- 26 は
- 27 後
- 28 (5)
- 29 に
- 30 て
- 31 お
- 32 届
- 33 け
- 34 し
- 35 ます

5 次の傍線部分のカタカナを漢字で記せ。

(40) 2×10

- 1 少しのカコウがあれば酒は進む。
- 2 墓前でロウソクに火をつける。
- 3 年中タユまず商売に専念した。
- 4 地盤がゼイヤクで地震に弱い。
- 5 一躍時代のチヨウジとなる。
- 6 絶望的なテイカンがその場を支配した。
- 7 事件が戦争へのブンスレイになった。
- 8 権力を握りエイヨウを極める。
- 9 タ方アカネイロの空が広がる。
- 10 ケシは一般に栽培が禁止されている。
- 11 ホウバイと夜更けまで議論する。
- 12 一味のシユカイと目される。
- 13 騒音に神経をサカナでされる。
- 14 黒くススけた梁が年月を思わせる。
- 15 ガイシは電線を電柱に固定する。
- 16 デンプンは栄養として重要だ。
- 17 時勢にカンガみて延期を決めた。
- 18 足りない人手をアッセンする。
- 19 詩歌をロウエイする。
- 20 重要な機密がロウエイする。

6 次の各文にまちがって使われている同じ音訓の漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を記せ。(10) 2×5

- 1 爪に火を点す様にして貯めた財産を湯水の如く使う罪の意識に煩悶した。
- 2 毎年恒例の様に起こる水害に業を煮やし、対策に徹底した灌概を施した。
- 3 会議用の資料に重大な欠陥があったのは私の誤りで誠に寒顔の至りです。
- 4 峠を越えて道に迷い漸く下山した所に存在した某集落の旅籠に投留した。
- 5 河川の増水に因る氾乱を如何に治めるかに歴代の為政者は頭を悩ませた。

7 次の問1と問2の四字熟語について答えよ。(30)

〔問1〕 次の四字熟語の(1~10)に入る適切な語を後の□から選び漢字二字で記せ。(20) 2×5

- | | | | | | |
|-----|-----|----|-----|----|-----|
| (1) | () | 万里 | () | 伏竜 | () |
| (2) | () | 章草 | () | 一顧 | () |
| (3) | () | 舜雨 | () | 君子 | () |
| (4) | () | 塗説 | () | 甲論 | () |
| (5) | () | 楽土 | () | 天神 | () |

おうどう・おつぱく・ぎょうふう・けいせい・ちぎ・どうちよう・ひようへん・ほうすう・ほうてい・ろぎよ

〔問2〕

次の1~5の解説・意味にあてはまる四字熟語を後の□から選び、その傍線部分だけの読みをひらがなで記せ。(10) 2×5

- 1 疑いを招く行為はしないほうがよい。
- 2 自分から原因を作り災いを招く。
- 3 万物が所を得て生活を楽しんでいる。
- 4 つまらない者が集まり騒ぎ立てる。
- 5 穀物が豊かに実ること。

鳶飛魚躍・開門揖盜・五穀豊穰・邑犬群吠・行住坐臥・李下瓜田・迅速果斷・震天動地

8 次の1~5の対義語、6~10の類義語を後の□の中から選び、漢字で記せ。□の中の語は一度だけ使うこと。(20) 2×10

- | | |
|------|-------|
| 1 遁世 | 6 際会 |
| 2 坦夷 | 7 薄給 |
| 3 秩序 | 8 契合 |
| 4 崇敬 | 9 密偵 |
| 5 纖弱 | 10 寢台 |

対義語

類義語

がしよう・かんちよう・けんしゆん・げんぞく・けんろう・こんとん・びろく・ふんごう・ほうちやく・ぼうとく

9 次の故事・成語・諺のカタカナの部分に漢字で記せ。(20) 2×10

- 1 コウジ魔多し。
- 2 キヨウボクは風に折らる。
- 3 濡れぬ先こそ露をもイトえ。
- 4 ガベイ飢えを充てず。
- 5 秋の日はツルベ落とし。
- 6 コチヨウの夢の百年目。
- 7 テップの急。
- 8 親の欲目と他人のヒガメ。
- 9 チヨツカンが一番槍より難し。
- 10 タカジヨウの子は鳩を馴らす。

10 文章中の傍線(1~5)のカタカナを漢字に直し、波線(A~C)の漢字の読みをひらがなで記せ。(20) 2×5 1×10

A 世の譬にも天生峠は蒼空に雨が降るといふ、人の話にも神代から袖が手を入れぬ森があると聞いたのに、今まではあまり樹がなま過ぎた。

今度は蛇のかわりにカニが歩きそうで草鞋が冷えた。しばらくすると暗くなった、杉、松、エノキとどころどろ見分けが出来ればかりに遠い処から幽に日の光の射すあたりでは、土の色が皆黒い。中には光線が森を射通す工合であろう、青だの、赤だの、ひだが入って美しい処があった。

時々爪先に絡まるのは葉のシズクの溜った糸のような流で、これは枝を打つて高い処を走るのだ。ともするとまた常磐木が落葉する、何の樹とも知れずばらばらと鳴り、かさかさ音かしてぱつと檜笠にかかることもある、あるいは行過ぎた背後へこぼれるものもある、それらは枝から枝に溜っていて何十年ぶりではじめて地の上まで落ちるのか分らぬ。

(泉鏡花「高野聖」より)

B 百花の王を以て許すボタンさえ崩れるときは、富貴の色もただ好事家の憐れを買うに足らぬほど脆いものだ。美人薄命という諺もある位だからこの女の寿命も容易に保険はつけられない。しかし妙齢の娘は概して活気に充ちている。前途の希望に照されて、見るからに陽気な心持のするものだ。のみならず友染とか、繻珍とか、ぱつとした色気のものに包まれているから、横から見ても縦から見ても派出である立派である、春景色である。その一人が――最も美しくしきその一人が寂光院の墓場の中に立った。浮かない、古臭い、沈静な四顧の景物の中に立った。するとその愛らしき眼、そのはなやかな袖がコツゼンと本来の面目を変じて蕭条たる周囲に流れ込んで、境内寂寞の感を一層深からしめた。天下に墓ほど落付いたものはない。しかしこの女が墓の前に延び上がった時は墓よりも落ちついていた。银杏の黄葉は淋しい。まして化けるとあるからな淋しい。

(夏目漱石「趣味の遺伝」より)

● 制限時間 **60分**

● 合格点 **160点**

● 得点 **点 / 200**

氏名 ふりがな ※印字されていない場合は氏名を記入。	訂正 ※氏名に誤りがある場合、右上の訂正にマークし、正しい氏名を記入。	性別 男 女	生年月日 元号 年 月 日 ※印字されていない場合は、 <input type="checkbox"/> の中に生年月日を記入。	元号は 令和…R 平成…H 昭和…S 大正…T 明治…M を記入。西暦の場合はWとして下2ケタを記入。
		訂正	元号 年 月 日 ※生年月日に誤りがある場合、訂正にマークし、 <input type="checkbox"/> の中に正しい生年月日を記入。	
マーク記入例 ○のように [□] をきれいにぬりつぶしてください。 ○ × <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>				

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	

1 読み

1×30 (30)

5	4	3	2	1

4 共通の漢字 (10)

オ		エ		ウ		イ		ア	
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

3 熟語の読み・一字訓読み (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

2 表外の読み

1×10 (10)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

5 書き取り

2×20 (40)

5	4	3	2	1

〔問2〕
意味と読み

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

〔問1〕
書き取り

2×10

7
四字熟語
(30)

5	4	3	2	1

誤
正

2×5

6
誤字訂正
(10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

9
故事・諺

(20)

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

8
対義語・類義語

(20)

2×10

コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア

読
み

1×10

5	4	3	2	1

書
き
取
り

2×5

10
文章題
(20)

注意点

- 答えはすべて答案用紙に書くこと。
- 問題についての説明はないので、問題をよく読んでから答えを書くこと。
- 答えは、必ずHB以上の濃い鉛筆かシャープペンシルで書くこと(ボールペンや万年筆などは使用不可)。
- 答えは楷書体で枠内いっぱい大きくはっきり書くこと。
特に漢字の書き取り問題では、はね・とめなどをはっきり書く。
行書体や草書体、乱雑な字は検定の対象にならない。

1 読み

各1点 計30点

- 1 じゅんか
- 2 きせん
- 3 すいらん
- 4 しゃはん
- 5 きごう
- 6 せきとく
- 7 けつがん
- 8 かんぼく
- 9 ぼくせん
- 10 おういつ
- 11 たんぜん
- 12 すいか
- 13 そっせん
- 14 いい
- 15 すいたい
- 16 ごうちん
- 17 たんでき
- 18 ばんか
- 19 おうよう
- 20 たいせい
- 21 ときいろ
- 22 むす(び)
- 23 まじな(い)
- 24 とが(めず)
- 25 はなわ
- 26 やたら
- 27 ゆる(せない)
- 28 ひがごと
- 29 しずく
- 30 まこと

2 表外の読み

各1点 計10点

- 1 つが(える)
- 2 なら(す)
- 3 おおむ(ね)
- 4 よしみ
- 5 すべ(て)
- 6 ほど(びる)
- 7 おさ(め)
- 8 よこしま(な)
- 9 つづま(やか)
- 10 つか(えた)

3 熟語の読み・一字訓読み

各1点 計10点

- | | | |
|---|---------|-----------|
| ア | 1 がんろう | 2 もてあそ(ぶ) |
| イ | 3 きようじん | 4 わる(い) |
| ウ | 5 ほひつ | 6 たす(ける) |
| エ | 7 はんしよく | 8 しげ(る) |
| オ | 9 めんこう | 10 わた(る) |

4 共通の漢字

各2点 計10点

- 1 雑(蕪雑・雑念)
- 2 縁(周縁・宿縁)
- 3 逸(放逸・逸脱)
- 4 墨(墨審・城墨)
- 5 便(幸便・後便)

5 書き取り

各2点 計40点

- | | | | | | | | | | |
|----------|-------|----------|----------|-------|-------|---------|-------|-------|----------|
| 1 嘉肴 | 2 蠟燭 | 3 弛(ます) | 4 脆弱 | 5 寵児 | 6 諦観 | 7 分水嶺 | 8 栄耀 | 9 茜色 | 10 芥子 |
| 11 朋輩・傍輩 | 12 首魁 | 13 逆撫(て) | 14 煤(けた) | 15 碍子 | 16 澱粉 | 17 鑑(み) | 18 幹旋 | 19 朗詠 | 20 漏洩・漏泄 |

6 誤字訂正

各2点 計10点

- 1 (煩)問↓(煩)悶
- 2 (灌)概↓(灌)漑
- 3 寒(顔)↓汗(顔)
- 4 投(留)↓逗(留)
- 5 (汜)乱↓(汎)濫

7 四字熟語

各2点 計30点

- 〔問1〕
- 1 鵬程(万里)
 - 2 魯魚(章草)

8 対義語・類義語

各2点 計20点

- 1 かてん(李下瓜田)
- 2 ゆうとう(開門揖盜)
- 3 えんぴ(鳶飛魚躍)
- 4 ゆうけん(邑犬群吠)
- 5 ほうじよう(五穀豊穰)
- 6 逢着・逢著
- 7 微禄
- 8 吻合
- 9 間諜
- 10 臥床・臥牀

〔問2〕

- 1 兇風(舜雨)
- 2 道聴(塗説)
- 3 王道(楽土)
- 4 (伏竜)鳳雛
- 5 (一顧)傾城
- 6 (君子)豹変
- 7 (甲論)乙駁(駁)
- 8 (天神)地祇

9 故事・諺

各2点 計20点

- 1 好事
- 2 喬木
- 3 厭(え)
- 4 画餅
- 5 釣瓶
- 6 胡蝶・蝴蝶
- 7 轍鮒
- 8 僻目
- 9 直諫
- 10 鷹匠

10 文章題

各2点 計10点

- 〔書き取り〕
- 1 蟹
 - 2 榎
 - 3 雫
 - 4 牡丹
 - 5 忽然

〔読み〕

各1点 計10点

- | | |
|----------|----------|
| ア あおぞら | カ こうずか |
| イ かすか(に) | キ もろ(い) |
| ウ つまさき | ク ことわざ |
| エ ときわぎ | ケ ゆうぜん |
| オ ひのきがき | コ さび(しい) |